

令和 8 年（2026 年）3 月

令和 6 年度 学生生活調査結果

大学院各課程（試行）



独立行政法人

日本学生支援機構

JASSO

Japan Student Services Organization

まえがき

日本学生支援機構（JASSO）では、全国の学生を対象として学生生活状況を把握することにより、学生生活支援事業を充実するための基礎資料を得ることを目的として、平成 16 年度から隔年で「学生生活調査」を実施しています。本調査は、平成 14 年度までは文部科学省が実施していましたが、平成 16 年 4 月に JASSO が設立されたことを機に文部科学省から移管され、現在に至っています。

このたび、令和 6 年度の調査では、大学院生の生活実態に合わせるべく、大学院の調査内容について見直しを行いました。なお、今回は試行的に実施した調査結果であり、今後調査を継続し、見直しを行う中でその傾向や推移が明らかになっていくものでありますため、その点を念頭にご覧いただければ幸いです。

今回の調査は、全国 215,578 人の中から、修士課程、博士課程、専門職学位課程の別に抽出率を定めてサンプル数を算出し、これを各大学に割り当てて調査を依頼しました。調査対象となった 50,315 人のうち、有効回答は 11,368 人、回収率は 22.6%となりました。本文で紹介する資料に掲げる数値は、この標本調査の結果を基礎として、全国の調査対象学生総数についての数値を推定した結果となっています。

学生生活に伴う問題は広範かつ複雑で、この調査で取り上げた事に尽きるものではありませんが、この調査結果が学生生活に関心を寄せられる方々の参考になれば幸いです。

末筆ながら、本調査に回答いただいた学生の皆様、本調査の実施に際して多大なご協力をいただいた全国の大学の関係者の皆様をはじめ、ご助言ご協力をいただきました関係者の方々に深く感謝申し上げます。

令和 8 年 3 月

独立行政法人 日本学生支援機構

目 次

まえがき

I. 調査実施方法等について	1
II. 調査結果の概要	2
1. 学生生活費（学費と生活費の合計）	4
2. 設置者別の学生生活費	5
3. 居住形態別の学生生活費	6
4. 学生の収入状況	8
5. アルバイト（副業）従事状況	9
6. 経済的支援の受給状況	11
7. 片道通学時間	13
8. 教育・学生支援への満足度	14
9. 学生の不安や悩み	15
III. 集計表	
令和6年度学生生活調査 大学院各課程の集計表について	19
1-1(1)表 居住形態別・収入平均額及び学生生活費の内訳（大学院修士課程・一般の学生）	20
1-1(2)表 〃 〃（大学院修士課程・社会人学生）	21
1-2(1)表 〃 〃（大学院博士課程・一般の学生）	22
1-2(2)表 〃 〃（大学院博士課程・社会人学生）	23
1-3(1)表 〃 〃（大学院専門職学位課程・一般の学生）	24
1-3(2)表 〃 〃（大学院専門職学位課程・社会人学生）	25
2-1表 居住形態別・地域別学生生活費の内訳（大学院修士課程）	26
2-2表 〃 〃（大学院博士課程）	27
2-3表 〃 〃（大学院専門職学位課程）	28
3(1)表 アルバイト従事状況別学生数の割合（一般の学生）	29
3(2)表 アルバイト・副業従事状況別学生数の割合（社会人学生）	29
3'-1表 アルバイト従事者の従事時期別・職種別学生数の割合 （大学院修士課程・一般の学生）	30
3'-2表 〃 〃（大学院博士課程・一般の学生）	31
3'-3表 〃 〃（大学院専門職学位課程・一般の学生）	32
4(1)表 設置者別・経済的支援状況学生数の割合（一般の学生）	33
4(2)表 〃 〃（社会人学生）	33
4'-1表 設置者別・経済的支援の種類別学生数の割合（大学院修士課程・一般の学生）	34
4'-2表 〃 〃（大学院修士課程・社会人学生）	34
4'-3表 〃 〃（大学院博士課程・一般の学生）	35
4'-4表 〃 〃（大学院博士課程・社会人学生）	35
4'-5表 〃 〃（大学院専門職学位課程・一般の学生）	36
4'-6表 〃 〃（大学院専門職学位課程・社会人学生）	36
5-1表 居住形態別・地域別片道通学時間（大学院修士課程）	37
5-2表 〃 〃（大学院博士課程）	38
5-3表 〃 〃（大学院専門職学位課程）	39

6 - 1 表	設置者別・教育・学生支援への満足度（大学院修士課程）	40
6 - 2 表	〃（大学院博士課程）	40
6 - 3 表	〃（大学院専門職学位課程）	41
7 - 1 表	設置者別・学生の不安や悩み（大学院修士課程）	42
7 - 2 表	〃（大学院博士課程）	43
7 - 3 表	〃（大学院専門職学位課程）	44

IV. 参考資料

令和6年度学生生活調査	大学院（修士課程）調査票	47
令和6年度学生生活調査	大学院（博士課程）調査票	73
令和6年度学生生活調査	大学院（専門職学位課程）調査票	97
令和6年度学生生活調査	【学生用調査案内】大学院（修士課程）サンプル	123
令和6年度学生生活調査	【学生用調査案内】大学院（博士課程）サンプル	131
令和6年度学生生活調査	【学生用調査案内】大学院（専門職学位課程）サンプル	139
令和6年度学生生活調査	・高等専門学校生生活調査・専門学校生生活調査 実施の手引	147

I. 調査実施方法等について

1. 調査の目的 この調査は、全国の学生を対象として、学生生活状況を把握することにより、学生生活支援事業の充実のための基礎資料を得ることを目的とする。
2. 調査の対象 大学院の学生
(社会人学生を含む。通信制課程、休学者及び外国人留学生は除く。)
3. 調査の時期 令和 6 年 (2024年) 11 月 (隔年調査)
4. 調査数 全国の学生215,578人 (文部科学省の令和5年度「学校基本調査」調査票情報を利用) から、大学院の修士課程、博士課程、専門職学位課程別に、下記の抽出率によって算出した、50,315人を対象に調査を実施した。

区分		設置者別		
		国 立	公 立	私 立
大 学 院	修 士 課 程	$\frac{9}{92}$	$\frac{33}{68}$	$\frac{4}{27}$
	博 士 課 程	$\frac{3}{14}$	$\frac{25}{33}$	$\frac{2}{5}$
	専門職学位課程	$\frac{57}{82}$	(全数調査)	$\frac{11}{17}$

※上記の数値は、在籍学生数に対する調査数の割合を示したものである (調査数/在籍学生数)。
 ※公立の大学院専門職学位課程については、母集団である全国の学生数が少数であるため、全数調査とした。

5. 調査方法 日本学生支援機構が、学校別の調査数とともに所定の調査票での調査実施を各学校に依頼し、各学校が、依頼された調査数で無作為抽出した学生 (全数調査の区分は全学生) に調査案内を配付、学生が、オンライン調査システムから回答する方法により、調査を行った。

Ⅱ. 調査結果の概要

令和6年度学生生活調査における大学院（修士課程・博士課程・専門職学位課程）の調査結果として、学生生活費、学生の収入状況、アルバイト従事状況、経済的支援の受給状況、通学時間、教育・学生支援への満足度、学生の不安や悩みの項目について取りまとめた。

<令和6年度調査回収率>

回収率	: 22.6 %	(有効回答数 11,368 人 / 調査数 50,315 人)
うち、		
修士課程	: 22.4 %	(有効回答数 4,567 人 / 調査数 20,362 人)
博士課程	: 23.5 %	(有効回答数 4,117 人 / 調査数 17,556 人)
専門職学位課程	: 21.7 %	(有効回答数 2,684 人 / 調査数 12,397 人)

令和6年度学生生活調査における大学院（修士課程・博士課程・専門職学位課程）の調査においては、調査票を刷新し、社会人経験（就業経験）の設問を追加したため、学生の就業実態別（以下、実態別）に集計結果を掲載する。

なお、実態別の集計における区分について、以下に示す。

設問10.社会人経験(就業経験)について

- | | | |
|----------------------------|-----|-------|
| 1 現在、職に就きながら学んでいる | → | 社会人学生 |
| 2 以前、職に就いていたが、現在は退職して学んでいる | } → | 一般の学生 |
| 3 職に就いた経験はない | | |

本結果における「社会人学生」とは、設問10「社会人経験（就業経験）について」で「1 現在、職に就きながら学んでいる」と回答した学生のことを指す。

また、「一般の学生」とは、設問10「社会人経験（就業経験）について」で「2 以前、職に就いていたが、現在は退職して学んでいる」、「3 職に就いた経験はない」と回答した学生のことを指す。

(参考)設置者別・社会人経験(就業経験)の割合

[単位:%]

区 分		現在、職に就きながら学んでいる	以前、職に就いていたが、現在は退職して学んでいる	職に就いた経験はない	計
修士課程	国立	6.9	2.1	91.0	100.0
	公立	20.5	5.6	74.0	100.0
	私立	21.6	6.7	71.7	100.0
	平均	13.4	4.1	82.5	100.0
博士課程	国立	42.5	10.3	47.2	100.0
	公立	57.5	11.1	31.4	100.0
	私立	57.4	13.8	28.9	100.0
	平均	48.5	11.6	39.8	100.0
専門職学位課程	国立	41.7	8.5	49.8	100.0
	公立	54.2	17.0	28.8	100.0
	私立	67.6	9.5	22.9	100.0
	平均	57.0	9.4	33.6	100.0

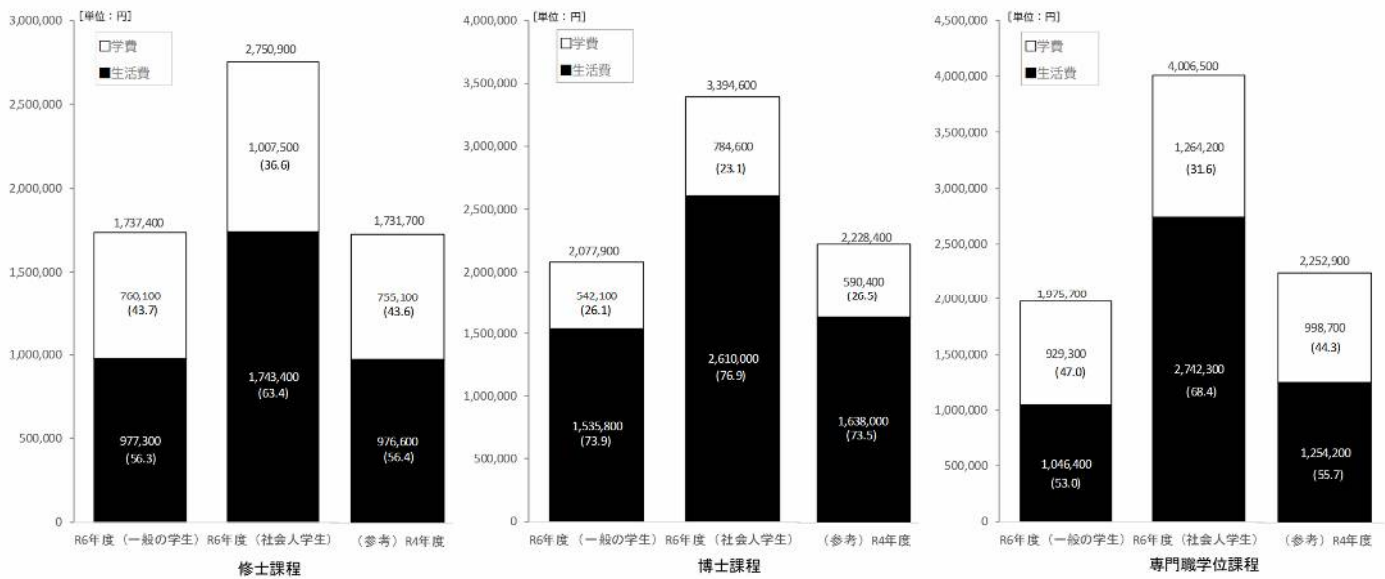
〔調査結果における留意事項〕

1. 本調査における学生生活費は学費と生活費を合わせた支出額である。
学 費：授業料、その他の学校納付金、通学費、勉学・研究費の合計
生 活費：住居光熱費（住宅ローン含む）、食費、保健衛生費、娯楽・嗜好費、その他の生活費の合計
2. 本調査結果の集計各表は端数処理(四捨五入)後の数値を使用しており、内訳の合計値と合計欄の値が一致しないことがある。
3. 質問の一部に回答がない調査票は、一部の集計表では集計対象としていない。
4. 各集計表の脚注に、有効回答数 (n) を参考値として表示している。なお、設問によって有効回答数が異なることから、各集計表における n は必ずしも一致しない。
5. 集計各表の数値は、この標本調査の有効回答を基礎として、調査対象学生総数についての推計値を算出した結果である。
6. 調査結果の概要に掲載の表中の記号等は次のように使う。
「－」：回答が無い場合
「0.0」：計数が単位未満の場合
「・・・」：回答の出現が有り得ない場合または調査対象とならなかった場合
斜体表記：回答数が20未満の場合
■：回答数が僅少のため集計結果の掲示を省略する場合

1. 学生生活費(学費と生活費の合計)【1-1(1)表から1-3(2)表】

年間の学生生活費について、大学院の各課程に在籍している一般の学生と社会人学生の学費と生活費の内訳は次のようになっている。

- 【修士課程】 一般の学生の学費は、社会人学生と比べて25万円低い76万円となっている。一般の学生の生活費は、社会人学生と比べて77万円低い98万円となっている。
- 【博士課程】 一般の学生の学費は、社会人学生と比べて24万円低い54万円となっている。一般の学生の生活費は、社会人学生と比べて107万円低い154万円となっている。
- 【専門職学位課程】 一般の学生の学費は、社会人学生と比べて33万円低い93万円となっている。一般の学生の生活費は、社会人学生と比べて170万円低い105万円となっている。



学費・生活費の各内訳

区分	修士課程			博士課程			専門職学位課程		
	令和6年度		(参考)	令和6年度		(参考)	令和6年度		(参考)
	一般の学生	社会人学生	令和4年度	一般の学生	社会人学生	令和4年度	一般の学生	社会人学生	令和4年度
授業料	572,700	703,800	605,100	321,900	509,700	376,900	694,200	1,004,800	782,000
その他の学校納付金	45,100	81,600	32,000	17,200	37,100	20,500	52,500	58,000	40,300
通学費	62,500	99,100	60,500	56,200	80,500	68,200	67,500	86,000	67,900
勉学・研究費 (旧修学費)	79,800	123,000	46,300	146,800	157,300	113,300	115,100	115,400	95,700
(旧課外活動費)	—	—	11,200	—	—	11,500	—	—	12,800
小計(学費)	760,100	1,007,500	755,100	542,100	784,600	590,400	929,300	1,264,200	998,700
住居光熱費 (住宅ローン含む)	313,500	557,600	307,400	518,800	891,200	467,600	326,100	917,700	302,800
食費	261,100	397,000	266,800	398,000	570,700	425,200	291,500	628,400	332,100
保健衛生費	69,600	139,000	53,200	102,900	170,500	93,900	79,100	181,500	70,200
娯楽・嗜好費	177,800	259,500	165,200	218,000	395,900	238,700	159,400	417,600	202,100
その他の生活費 (旧その他の日常費)	155,300	390,300	184,000	298,100	581,700	412,600	190,300	597,100	347,000
小計(生活費)	977,300	1,743,400	976,600	1,535,800	2,610,000	1,638,000	1,046,400	2,742,300	1,254,200
計	1,737,400	2,750,900	1,731,700	2,077,900	3,394,600	2,228,400	1,975,700	4,006,500	2,252,900

2. 設置者別の学生生活費【1-1(1)表から表1-3(2)】

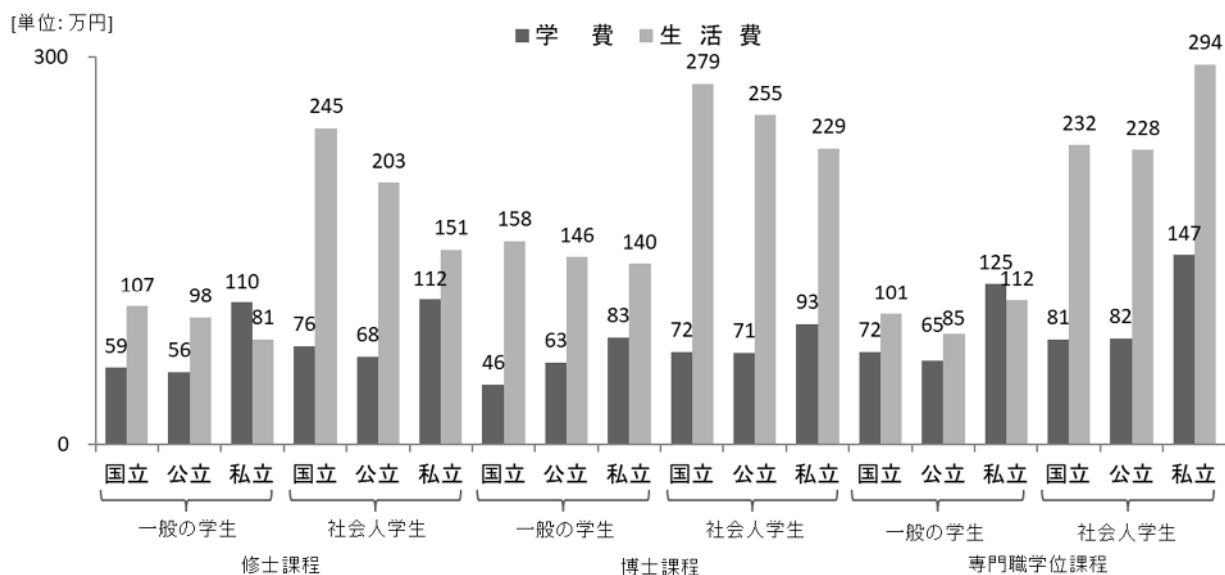
学生生活費を設置者別の内訳を見ると、学費はすべての区分において私立が最も高く、一方、生活費については、一般の学生、社会人学生共に修士課程、博士課程は私立、専門職学位課程は公立が最も低くなっている。

生活費を実態別に見てみると、すべての課程で社会人学生の生活費は、一般の学生と比べて修士課程、博士課程は1.6倍以上、専門職学位課程は2.6倍以上となっている。

【修士課程】 一般の学生の学生生活費の合計では、私立が公立より37万円高くなっている。
社会人学生の学生生活費の合計では、国立が私立より58万円高くなっている。

【博士課程】 一般の学生の学生生活費の合計では、私立が国立より19万円高くなっている。
社会人学生の学生生活費の合計では、国立が私立より29万円高くなっている。

【専門職学位課程】 一般の学生の学生生活費の合計では、私立が公立より86万円高くなっている。
社会人学生の学生生活費の合計では、私立が公立より131万円高くなっている。



区分			学 費			生 活 費			合 計
			授業料、 その他の 学校納付金	通学費、 勉学・研究費	小 計	住居光熱費 (住宅ローン含む)、 食費	保健衛生費、 娯楽・嗜好費、 その他の生活費	小 計	
修士課程	一般の学生	国立	477,000	116,700	593,700	651,800	416,500	1,068,300	1,662,000
		公立	415,500	142,100	557,600	573,300	407,700	981,000	1,538,600
		私立	910,300	188,700	1,099,000	434,200	376,700	810,900	1,909,900
	平均	617,800	142,300	760,100	574,600	402,700	977,300	1,737,400	
	社会人学生	国立	542,700	218,100	760,800	1,219,400	1,227,300	2,446,700	3,207,500
公立		481,900	193,800	675,700	1,114,300	914,000	2,028,300	2,704,000	
私立		895,300	227,100	1,122,400	858,900	649,800	1,508,700	2,631,100	
平均	785,400	222,100	1,007,500	954,600	788,800	1,743,400	2,750,900		
博士課程	一般の学生	国立	269,400	193,600	463,000	946,500	629,100	1,575,600	2,038,600
		公立	407,500	226,000	633,500	870,000	585,900	1,455,900	2,089,400
		私立	593,100	233,000	826,100	813,400	589,700	1,403,100	2,229,200
	平均	339,100	203,000	542,100	916,800	619,000	1,535,800	2,077,900	
	社会人学生	国立	483,800	233,200	717,000	1,557,200	1,233,800	2,791,000	3,508,000
公立		489,000	217,400	706,400	1,395,500	1,153,400	2,548,900	3,255,300	
私立		677,800	251,400	929,200	1,302,500	988,300	2,290,800	3,220,000	
平均	546,800	237,800	784,600	1,461,900	1,148,100	2,610,000	3,394,600		
専門職学位課程	一般の学生	国立	545,600	169,300	714,900	591,900	416,600	1,008,500	1,723,400
		公立	485,700	160,000	645,700	476,700	376,900	853,600	1,499,300
		私立	1,043,600	202,600	1,246,200	665,100	450,100	1,115,200	2,361,400
	平均	746,700	182,600	929,300	617,600	428,800	1,046,400	1,975,700	
	社会人学生	国立	551,600	259,600	811,200	1,284,400	1,032,500	2,316,900	3,128,100
公立		629,100	192,000	821,100	1,257,300	1,022,300	2,279,600	3,100,700	
私立		1,290,900	178,300	1,469,200	1,666,100	1,271,000	2,937,100	4,406,300	
平均	1,062,800	201,400	1,264,200	1,546,100	1,196,200	2,742,300	4,006,500		

3. 居住形態別の学生生活費【1-1(1)表から1-3(2)表】

学生生活費を居住形態別^{※1}に比較した場合、すべての区分において、「親と同居（実家暮らし）」より、「下宿・アパート等」、「その他（持ち家等）」に居住する者の学生生活費が高くなっているが、これは生活費の差によるところが大きい。

設置者別の学生生活費では、修士課程の一般の学生以外の区分においては、私立の「下宿・アパート等」が最も高くなっている。

【修士課程】 一般の学生^{※2}の下宿・アパート等の学生生活費は、親と同居（実家暮らし）に比べ56万円高くなっている。

社会人学生のその他（持ち家等）の学生生活費は、親と同居（実家暮らし）に比べ101万円高くなっている。

【博士課程】 一般の学生の下宿・アパート等の学生生活費は、親と同居（実家暮らし）に比べ59万円高くなっている。

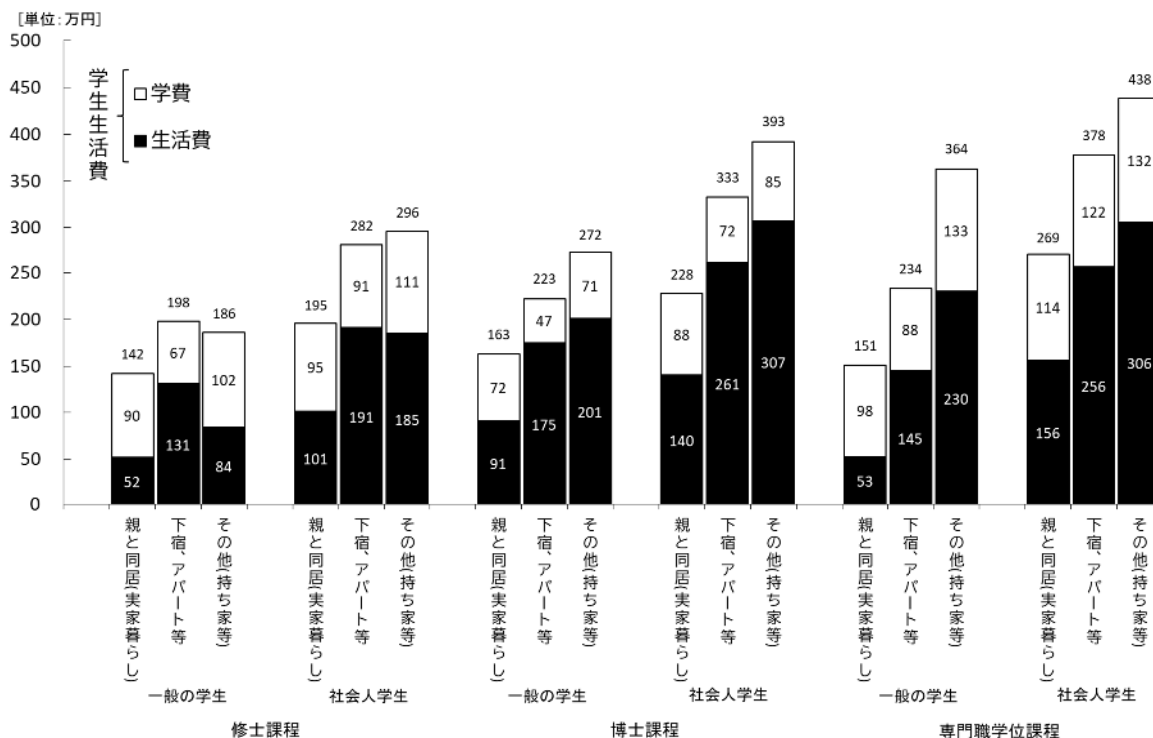
社会人学生のその他（持ち家等）の学生生活費は、親と同居（実家暮らし）に比べ165万円高くなっている。

【専門職学位課程】 一般の学生の下宿・アパート等の学生生活費は、親と同居（実家暮らし）に比べ82万円高くなっている。

社会人学生のその他（持ち家等）の学生生活費は、親と同居（実家暮らし）に比べ168万円高くなっている。

※1 学生寮は区分により、回答数が僅少のため、本文では取り上げない。

※2 一般の学生について居住形態別に見ると、「その他（持ち家等）」の割合が少ないため、割合が多い「下宿・アパート等」と比較する。



[単位:円]

区 分			親と同居(実家暮らし)	下宿、アパート等	その他(持ち家等)
修士課程	一般の学生	国立	1,201,700 (1.00)	1,889,000 (1.57)	1,380,000 (1.15)
		公立	1,164,100 (0.97)	1,815,100 (1.51)	1,645,500 (1.37)
		私立	1,642,600 (1.37)	2,311,700 (1.92)	2,106,600 (1.75)
		平均	1,417,300	1,978,700	1,857,800
	社会人学生	国立	1,801,000 (1.00)	2,603,100 (1.83)	4,209,900 (2.96)
		公立	1,801,000 (1.27)	3,037,500 (2.14)	2,812,700 (1.98)
		私立	2,052,100 (1.45)	2,873,300 (2.02)	2,653,600 (1.87)
		平均	1,953,100	2,824,900	2,957,600
博士課程	一般の学生	国立	1,584,300 (1.00)	2,170,000 (1.37)	2,739,200 (1.73)
		公立	1,500,200 (0.95)	2,299,400 (1.45)	2,840,700 (1.79)
		私立	1,784,400 (1.13)	2,479,600 (1.57)	2,660,100 (1.68)
		平均	1,634,000	2,226,400	2,724,800
	社会人学生	国立	2,289,200 (1.00)	3,366,300 (1.47)	4,148,800 (1.81)
		公立	2,401,600 (1.05)	3,336,500 (1.46)	3,381,900 (1.48)
		私立	2,254,500 (0.98)	3,253,200 (1.42)	3,710,600 (1.62)
		平均	2,279,900	3,333,300	3,926,800
専門職学位課程	一般の学生	国立	1,255,600 (1.00)	2,046,600 (1.63)	4,273,400 (3.40)
		公立	1,143,500 (0.91)	2,024,600 (1.61)	3,636,400 (1.36)
		私立	1,847,100 (1.47)	2,802,200 (2.23)	3,439,300 (2.74)
		平均	1,512,700	2,336,300	3,636,400
	社会人学生	国立	2,428,900 (1.00)	3,167,400 (1.30)	3,352,200 (1.38)
		公立	1,900,000 (0.78)	2,910,800 (1.20)	3,651,800 (1.50)
		私立	3,042,000 (1.25)	4,112,400 (1.69)	4,708,200 (1.94)
		平均	2,694,700	3,778,100	4,375,700

※ () は、国立の「親と同居(実家暮らし)」を基準(1.00)とした場合の比率である。

修士課程社会人学生の国立の「親と同居(実家暮らし)」、専門職学位課程一般の学生の公立の「その他(持ち家等)」は、回答数が僅少のため学生生活費の金額を非掲記とする。

(参考)課程別・居住形態別学生数の割合

		親と同居 (実家暮らし)	学生寮	下宿、アパート等	その他 (持ち家等)
修士課程	一般の学生	40.6	4.3	53.0	2.1
	社会人学生	13.0	0.9	32.5	53.6
博士課程	一般の学生	23.9	4.0	64.2	7.9
	社会人学生	8.8	0.5	47.3	43.4
専門職学位課程	一般の学生	42.8	5.9	43.1	8.2
	社会人学生	7.5	0.6	28.6	63.4

4. 学生の収入状況【1-1(1)表から1-3(2)表】

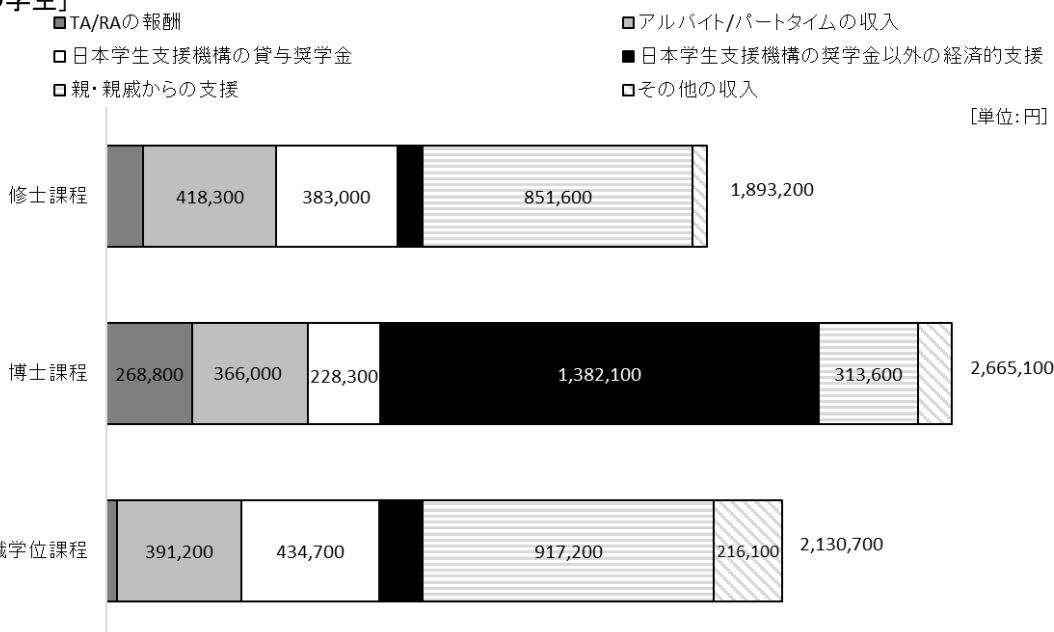
学生の収入状況の内訳については、次のようになっている。

【修士課程】 一般の学生の収入内訳は、親・親戚からの支援の割合が45.0%と一番高くなっている。
社会人学生の収入内訳は、本業による収入の割合が91.7%と一番高くなっている。

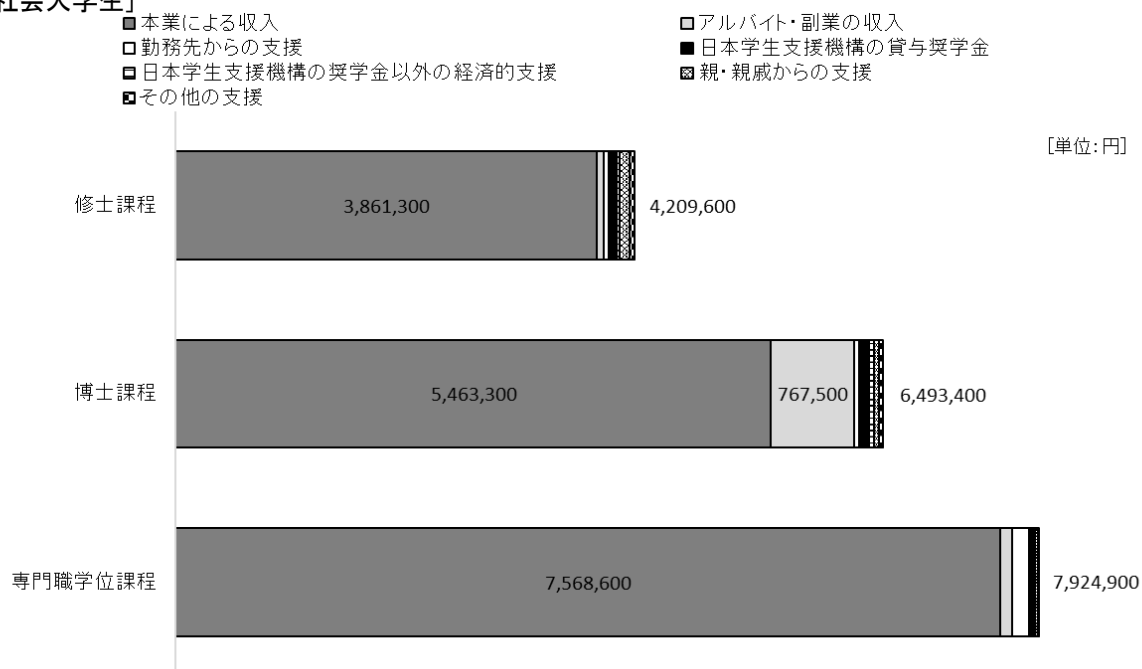
【博士課程】 一般の学生の収入内訳は、奨学金以外の経済的支援の割合が51.9%と一番高くなっている。
社会人学生の収入内訳は、本業による収入の割合が84.1%と一番高くなっている。

【専門職学位課程】 一般の学生の収入内訳は、親・親戚からの支援の割合が43.0%と一番高くなっている。
社会人学生の収入内訳は、本業による収入の割合が95.5%と一番高くなっている。

[一般の学生]



[社会人学生]



一般の学生の収入及び構成割合

[単位:円]

区 分	TA/RAの報酬	アルバイト/ パートタイムの収入	日本学生支援機構の 貸与奨学金	日本学生支援機構の 奨学金以外の 経済的支援	親・親戚からの支援	その他の収入	合計
修士課程	(6.0) 114,400	(22.1) 418,300	(20.2) 383,000	(4.2) 79,700	(45.0) 851,600	(2.4) 46,200	(100.0) 1,893,200
博士課程	(10.1) 268,800	(13.7) 366,000	(8.6) 228,300	(51.9) 1,382,100	(11.8) 313,600	(4.0) 106,300	(100.0) 2,665,100
専門職学位課程	(1.5) 32,800	(18.4) 391,200	(20.4) 434,700	(6.5) 138,700	(43.0) 917,200	(10.1) 216,100	(100.0) 2,130,700

※ ()は、合計に占める割合(単位:%)である。

社会人学生の収入及び構成割合

[単位:円]

区 分	本業による収入	アルバイト・副業の 収入	勤務先からの支援	日本学生支援機構の 貸与奨学金	日本学生支援機構の 奨学金以外の 経済的支援	親・親戚からの支援	その他の支援	合計
修士課程	(91.7) 3,861,300	(1.6) 65,800	(1.1) 46,700	(1.7) 70,200	(0.8) 33,800	(2.0) 84,900	(1.1) 46,900	(100.0) 4,209,600
博士課程	(84.1) 5,463,300	(11.8) 767,500	(0.7) 42,400	(1.3) 86,700	(0.8) 51,300	(0.7) 46,800	(0.5) 35,400	(100.0) 6,493,400
専門職学位課程	(95.5) 7,568,600	(1.3) 105,900	(2.0) 155,500	(0.5) 37,500	(0.3) 20,000	(0.3) 22,300	(0.2) 15,100	(100.0) 7,924,900

※ ()は、合計に占める割合(単位:%)である。

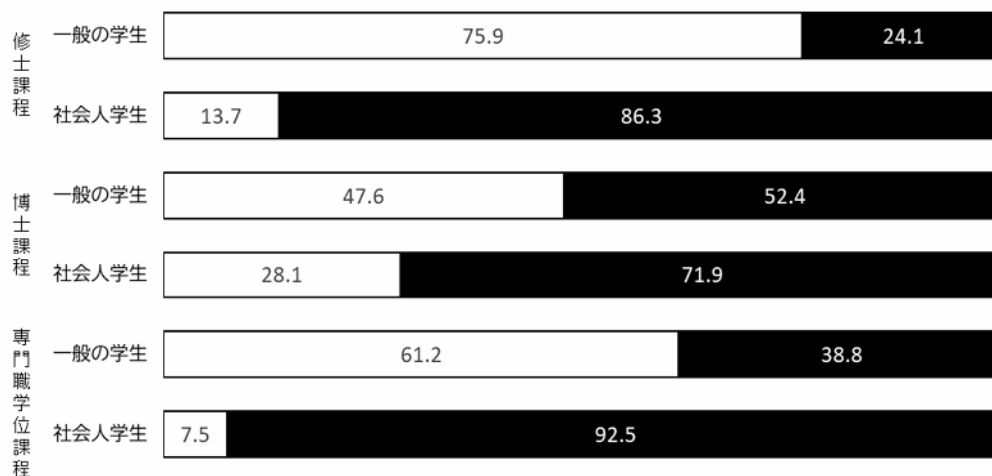
5. アルバイト等従事状況【3(1)表、3(2)表、3'-1表から3'-3】

大学院の各課程に在籍している一般の学生と社会人学生のアルバイト等従事者（調査時前1年間に
おいてアルバイト等に従事した経験を有する者）の割合は、次のようになっている。

【アルバイト従事者の割合】

- 【 修 士 課 程 】 一般の学生のうち、75.9%の学生がアルバイトに従事している。
社会人学生のうち、13.7%の学生がアルバイト・副業に従事している。
- 【 博 士 課 程 】 一般の学生のうち、47.6%の学生がアルバイトに従事している。
社会人学生のうち、28.1%の学生がアルバイト・副業に従事している。
- 【 専 門 職 学 位 課 程 】 一般の学生のうち、61.2%の学生がアルバイトに従事している。
社会人学生のうち、7.5%の学生がアルバイト・副業に従事している。

[単位:%]



□従事している ■従事していない

[単位: %]

区分			従事している	従事していない	計
修士課程	一般の学生	国立	76.0	24.0	100.0
		公立	78.7	21.3	100.0
		私立	75.3	24.7	100.0
		平均	75.9	24.1	100.0
	社会人学生	国立	13.4	86.6	100.0
		公立	13.3	86.7	100.0
		私立	13.9	86.1	100.0
		平均	13.7	86.3	100.0
博士課程	一般の学生	国立	44.3	55.7	100.0
		公立	50.1	49.9	100.0
		私立	59.2	40.8	100.0
		平均	47.6	52.4	100.0
	社会人学生	国立	28.5	71.5	100.0
		公立	23.7	76.3	100.0
		私立	28.7	71.3	100.0
		平均	28.1	71.9	100.0
専門職学位課程	一般の学生	国立	73.3	26.7	100.0
		公立	61.8	38.2	100.0
		私立	46.4	53.6	100.0
		平均	61.2	38.8	100.0
	社会人学生	国立	6.7	93.3	100.0
		公立	10.3	89.7	100.0
		私立	7.7	92.3	100.0
		平均	7.5	92.5	100.0

※ 大学院の「アルバイト従事者」には、TA(ティーチングアシスタント)、RA(リサーチアシスタント)は含まない。

(参考)一般の学生のアルバイト従事職種別割合

[単位: %]

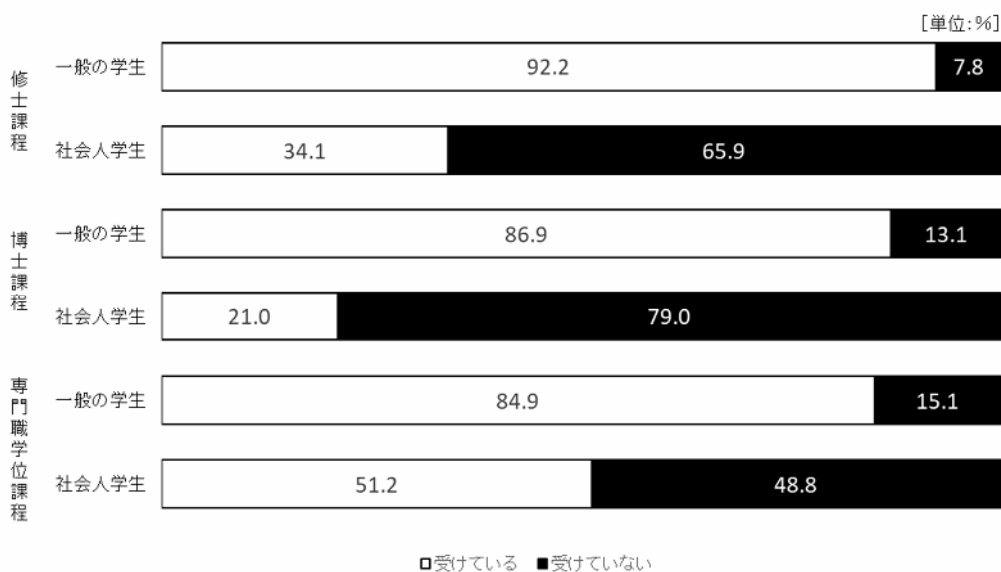
区 分	塾講師・ 家庭教師など	非常勤講師 など	研究補助業務 (RA以外)など	事 務	販 売	飲食業	販売・飲食業を 除く軽労働	重労働・ 危険作業	特殊技能	その他
修士課程	19.5	1.7	7.1	5.8	15.6	21.6	9.0	1.7	4.8	12.7
博士課程	7.5	8.8	11.5	3.2	2.1	4.0	1.8	0.7	6.2	13.7
専門職学位課程	20.5	8.2	3.2	7.2	8.8	14.8	4.6	1.1	1.3	14.7

6. 経済的支援の受給状況【4(1)表、4(2)表、4'-1(1)表から4'-3(2)表】

大学院の各課程に在籍している一般の学生と社会人学生の奨学金を含めた何らかの経済的支援※を受給している者の割合は、次のようになっている。

- 【 修 士 課 程 】 一般の学生のうち、92.2%の学生が何らかの経済的支援を受けている。
社会人学生のうち、34.1%の学生が何らかの経済的支援を受けている。
- 【 博 士 課 程 】 一般の学生のうち、86.9%の学生が何らかの経済的支援を受けている。
社会人学生のうち、21.0%の学生が何らかの経済的支援を受けている。
- 【 専 門 職 学 位 課 程 】 一般の学生のうち、84.9%の学生が何らかの経済的支援を受けている。
社会人学生のうち、51.2%の学生が何らかの経済的支援を受けている。

※何らかの経済的支援とは、「(参照) 経済的支援の種類別割合」に掲載しているものである。



[単位: %]

区分			経済的支援を受けている	経済的支援を受けていない	計
修士課程	一般の学生	国立	94.2	5.8	100.0
		公立	88.6	11.4	100.0
		私立	89.4	10.6	100.0
		平均	92.2	7.8	100.0
	社会人学生	国立	25.0	75.0	100.0
		公立	21.6	78.4	100.0
		私立	40.4	59.6	100.0
		平均	34.1	65.9	100.0
博士課程	一般の学生	国立	88.0	12.0	100.0
		公立	85.1	14.9	100.0
		私立	83.3	16.7	100.0
		平均	86.9	13.1	100.0
	社会人学生	国立	18.4	81.6	100.0
		公立	19.1	80.9	100.0
		私立	26.9	73.1	100.0
		平均	21.0	79.0	100.0
専門職学位課程	一般の学生	国立	86.3	13.7	100.0
		公立	83.1	16.9	100.0
		私立	83.3	16.7	100.0
		平均	84.9	15.1	100.0
	社会人学生	国立	31.7	68.3	100.0
		公立	61.5	38.5	100.0
		私立	58.8	41.2	100.0
		平均	51.2	48.8	100.0

(参考)経済的支援の種類別割合

[単位: %]

修士課程

経済的支援の種類(複数回答)										
一般の学生	日本学生支援機構の 第一種奨学金	日本学生支援機構の 第二種奨学金	日本学生支援機構の 生活費奨学金	大学による奨学金・ 経済的支援(貸与型)	大学による奨学金・ 経済的支援(給付型)	民間団体・企業の 奨学金・経済的支援 (貸与型)	民間団体・企業の 奨学金・経済的支援 (給付型)	その他の経済的支援 (貸与型)	その他の経済的支援 (給付型)	親・親戚からの支援
	37.8	4.7	0.1	0.3	6.0	0.6	5.6	0.1	0.5	77.2

[単位: %]

社会人学生

経済的支援の種類(複数回答)									
社会人学生	勤務先からの支援	日本学生支援機構の 第一種奨学金	日本学生支援機構の 第二種奨学金	日本学生支援機構の 生活費奨学金	大学による奨学金・ 経済的支援(貸与型)	大学による奨学金・ 経済的支援(給付型)	親・親戚からの支援	教育訓練給付制度 (修了後に受給)	その他の支援
	7.8	4.9	2.1	0.2	1.3	5.7	6.5	8.2	3.4

[単位: %]

博士課程

一般の学生

経済的支援の種類(複数回答)								
一般の学生	日本学生支援機構の 第一種奨学金	日本学生支援機構の 第二種奨学金	生活費相当額の支援 (給付型) [※]	大学による奨学金・ 経済的支援(貸与型)	大学による奨学金・ 経済的支援(給付型)	その他の経済的支援 (貸与型)	その他の経済的支援 (給付型)	親・親戚からの支援
	18.2	1.0	43.2	0.6	17.2	1.0	8.7	32.8

(※)日本学術振興会(JSPS)、科学技術振興機構(JST)等による生活費相当額の支援(給付型)を示す。

[単位: %]

社会人学生

経済的支援の種類(複数回答)								
社会人学生	勤務先からの支援	日本学生支援機構の 第一種奨学金	日本学生支援機構の 第二種奨学金	大学による奨学金・ 経済的支援(貸与型)	大学による奨学金・ 経済的支援(給付型)	親・親戚からの支援	教育訓練給付制度 (修了後に受給)	その他の支援
	6.1	4.0	1.5	0.4	4.8	4.1	0.3	2.4

[単位: %]

専門
職学位
課程

一般の学生

経済的支援の種類(複数回答)										
一般の学生	日本学生支援機構の 第一種奨学金	日本学生支援機構の 第二種奨学金	日本学生支援機構の 生活費奨学金	大学による奨学金・ 経済的支援(貸与型)	大学による奨学金・ 経済的支援(給付型)	民間団体・企業の 奨学金・経済的支援 (貸与型)	民間団体・企業の 奨学金・経済的支援 (給付型)	その他の経済的支援 (貸与型)	その他の経済的支援 (給付型)	親・親戚からの支援
	31.4	9.4	—	0.3	8.0	1.0	3.4	0.5	2.0	65.1

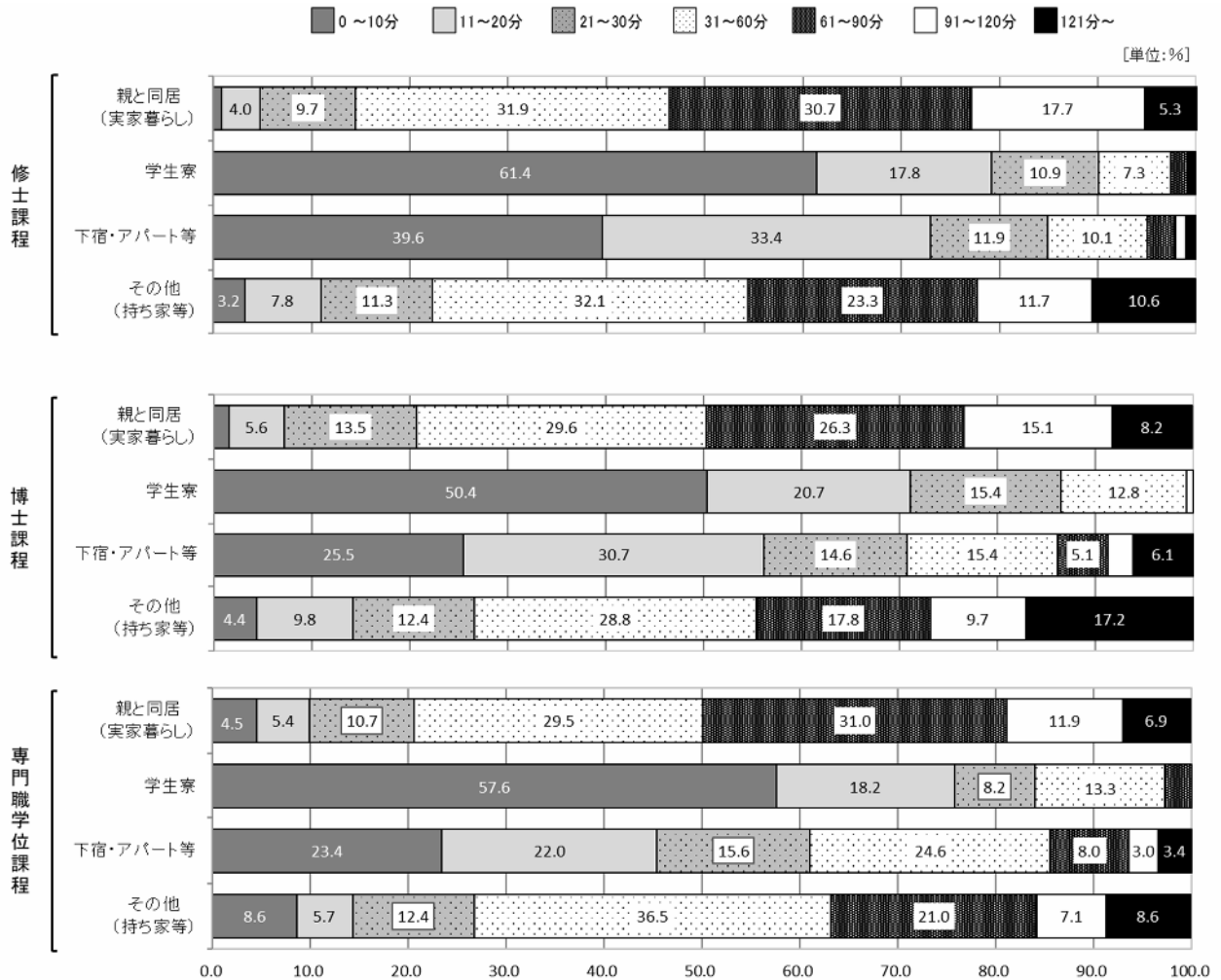
[単位: %]

社会人学生

経済的支援の種類(複数回答)									
社会人学生	勤務先からの支援	日本学生支援機構の 第一種奨学金	日本学生支援機構の 第二種奨学金	日本学生支援機構の 生活費奨学金	大学による奨学金・ 経済的支援(貸与型)	大学による奨学金・ 経済的支援(給付型)	親・親戚からの支援	教育訓練給付制度 (修了後に受給)	その他の支援
	13.7	1.7	1.1	—	0.1	2.5	2.0	32.0	1.9

7. 片道通学時間【5-1表から5-3表】

片道通学時間について居住形態別に見ると、親と同居（実家暮らし）の通学者では、修士課程、博士課程においては「31～60分」、専門職学位課程においては「61～90分」と回答した者の割合が最も高くなっている。学生寮からの通学者では、すべての課程において「0～10分」と回答した者の割合が5割を超えている。下宿・アパート等からの通学者では、「0～10分」又は「11～20分」と回答した者の割合が修士課程は7割、博士課程は5割、専門職学位課程は4割を超えている。その他（持ち家等）からの通学者では、すべての課程において「31～60分」と回答した者の割合が最も高くなっている。

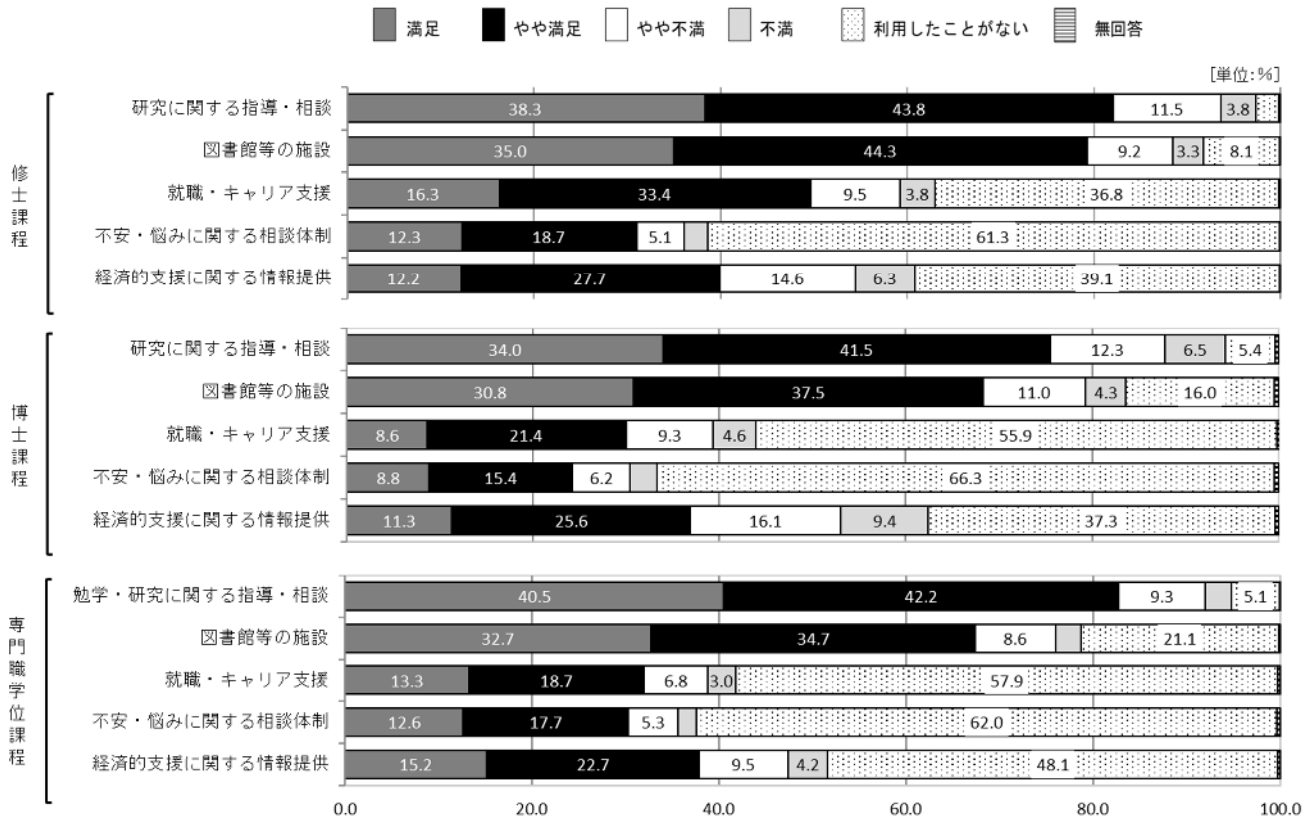


区分		0～10分	11～20分	21～30分	31～60分	61～90分	91～120分	121分以上
修士課程	親と同居 (実家暮らし)	0.8	4.0	9.7	31.9	30.7	17.7	5.3
	学生寮	61.4	17.8	10.9	7.3	1.7	—	0.9
	下宿・アパート等	39.6	33.4	11.9	10.1	2.9	1.0	1.1
	その他 (持ち家等)	3.2	7.8	11.3	32.1	23.3	11.7	10.6
博士課程	親と同居 (実家暮らし)	1.6	5.6	13.5	29.6	26.3	15.1	8.2
	学生寮	50.4	20.7	15.4	12.8	—	0.7	—
	下宿・アパート等	25.5	30.7	14.6	15.4	5.1	2.6	6.1
	その他 (持ち家等)	4.4	9.8	12.4	28.8	17.8	9.7	17.2
専門職学位課程	親と同居 (実家暮らし)	4.5	5.4	10.7	29.5	31.0	11.9	6.9
	学生寮	57.6	18.2	8.2	13.3	2.7	—	—
	下宿・アパート等	23.4	22.0	15.6	24.6	8.0	3.0	3.4
	その他 (持ち家等)	8.6	5.7	12.4	36.5	21.0	7.1	8.6

8. 教育・学生支援への満足度【6-1表から6-3表】

所属する大学院の教育・学生支援における満足度について、すべての課程において「(勉学・) 研究に関する指導・相談」では、「満足」又は「やや満足」と回答した者の割合は、7割を超えている。

また、「不安・悩みに関する相談体制」の項目では「利用したことがない」と回答した者の割合が6割を超えている。



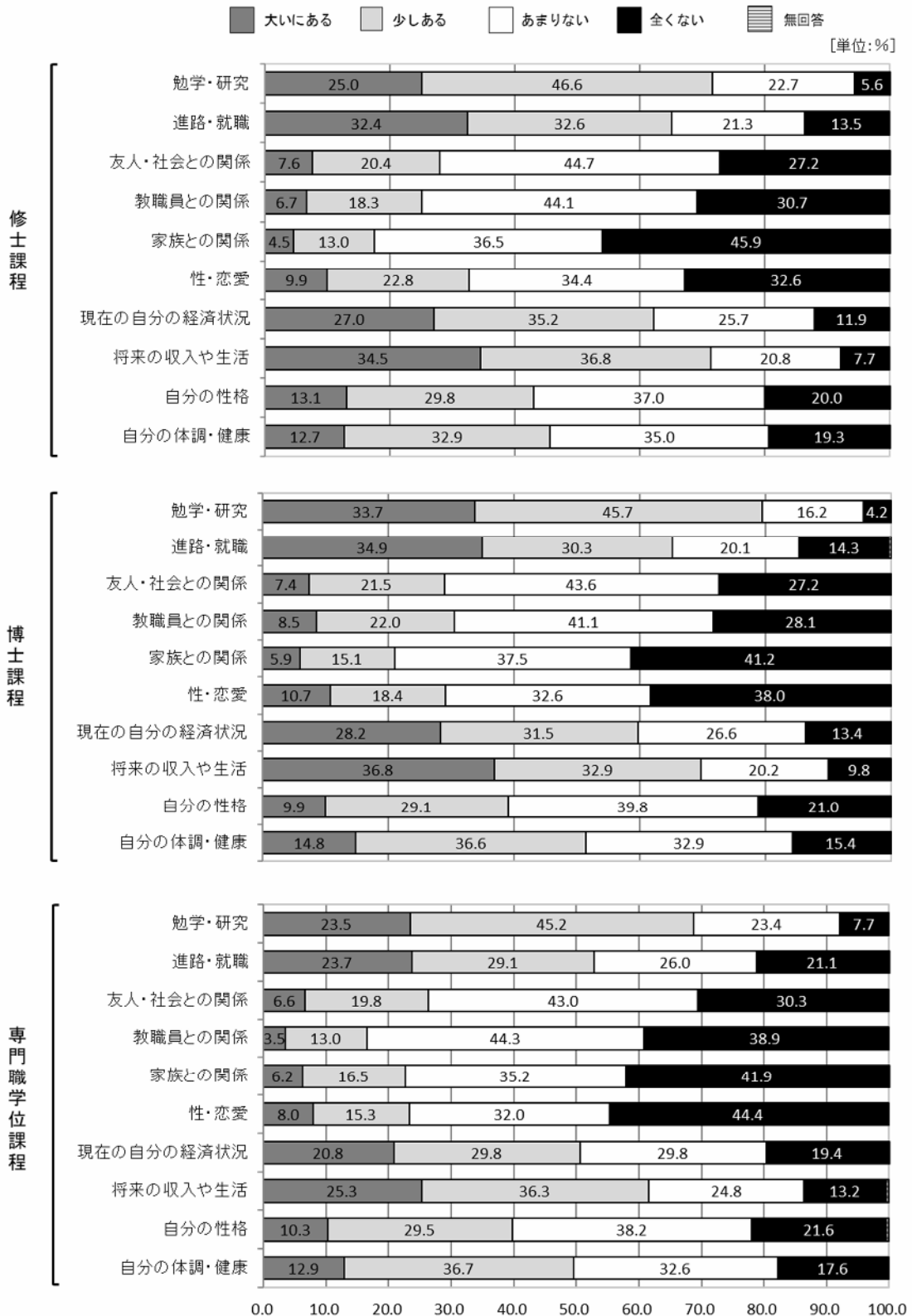
[単位: %]

区分	利用したことがある				利用したことがない	無回答	計	
	満足	やや満足	やや不満	不満				
修士課程	研究に関する指導・相談	38.3	43.8	11.5	3.8	2.4	0.2	100.0
	図書館等の施設	35.0	44.3	9.2	3.3	8.1	0.2	100.0
	就職・キャリア支援	16.3	33.4	9.5	3.8	36.8	0.2	100.0
	不安・悩みに関する相談体制(カウンセリング等)	12.3	18.7	5.1	2.5	61.3	0.2	100.0
	経済的支援に関する情報提供	12.2	27.7	14.6	6.3	39.1	0.1	100.0
博士課程	研究に関する指導・相談	34.0	41.5	12.3	6.5	5.4	0.3	100.0
	図書館等の施設	30.8	37.5	11.0	4.3	16.0	0.4	100.0
	就職・キャリア支援	8.6	21.4	9.3	4.6	55.9	0.3	100.0
	不安・悩みに関する相談体制(カウンセリング等)	8.8	15.4	6.2	2.9	66.3	0.4	100.0
	経済的支援に関する情報提供	11.3	25.6	16.1	9.4	37.3	0.3	100.0
専門職学位課程	勉学・研究に関する指導・相談	40.5	42.2	9.3	2.8	5.1	0.2	100.0
	図書館等の施設	32.7	34.7	8.6	2.7	21.1	0.2	100.0
	就職・キャリア支援	13.3	18.7	6.8	3.0	57.9	0.3	100.0
	不安・悩みに関する相談体制(カウンセリング等)	12.6	17.7	5.3	2.0	62.0	0.4	100.0
	経済的支援に関する情報提供	15.2	22.7	9.5	4.2	48.1	0.3	100.0

9. 学生の不安や悩み【7-1表から7-3表】

学生の不安や悩みについて、「大いにある」又は「少しある」と回答した者の割合は、すべての課程において「勉学・研究」が最も高くなっており、次に「将来の収入や生活」となっている。

一方で、「あまりない」又は「全くない」と回答した者の割合は、修士課程、博士課程では「家族との関係」、専門職学位課程では「教職員との関係」が最も高くなっている。



[単位: %]

区分		大いにある	少しある	あまりない	全くない	無回答	計
修士課程	勉学・研究	25.0	46.6	22.7	5.6	0.1	100.0
	進路・就職	32.4	32.6	21.3	13.5	0.2	100.0
	友人・社会との関係	7.6	20.4	44.7	27.2	0.1	100.0
	教職員との関係	6.7	18.3	44.1	30.7	0.2	100.0
	家族との関係	4.5	13.0	36.5	45.9	0.2	100.0
	性・恋愛	9.9	22.8	34.4	32.6	0.2	100.0
	現在の自分の経済状況	27.0	35.2	25.7	11.9	0.2	100.0
	将来の収入や生活	34.5	36.8	20.8	7.7	0.2	100.0
	自分の性格	13.1	29.8	37.0	20.0	0.1	100.0
	自分の体調・健康	12.7	32.9	35.0	19.3	0.1	100.0
博士課程	勉学・研究	33.7	45.7	16.2	4.2	0.2	100.0
	進路・就職	34.9	30.3	20.1	14.3	0.4	100.0
	友人・社会との関係	7.4	21.5	43.6	27.2	0.3	100.0
	教職員との関係	8.5	22.0	41.1	28.1	0.3	100.0
	家族との関係	5.9	15.1	37.5	41.2	0.3	100.0
	性・恋愛	10.7	18.4	32.6	38.0	0.3	100.0
	現在の自分の経済状況	28.2	31.5	26.6	13.4	0.3	100.0
	将来の収入や生活	36.8	32.9	20.2	9.8	0.2	100.0
	自分の性格	9.9	29.1	39.8	21.0	0.2	100.0
	自分の体調・健康	14.8	36.6	32.9	15.4	0.3	100.0
専門職学位課程	勉学・研究	23.5	45.2	23.4	7.7	0.2	100.0
	進路・就職	23.7	29.1	26.0	21.1	0.1	100.0
	友人・社会との関係	6.6	19.8	43.0	30.3	0.3	100.0
	教職員との関係	3.5	13.0	44.3	38.9	0.2	100.0
	家族との関係	6.2	16.5	35.2	41.9	0.3	100.0
	性・恋愛	8.0	15.3	32.0	44.4	0.3	100.0
	現在の自分の経済状況	20.8	29.8	29.8	19.4	0.3	100.0
	将来の収入や生活	25.3	36.3	24.8	13.2	0.4	100.0
	自分の性格	10.3	29.5	38.2	21.6	0.4	100.0
	自分の体調・健康	12.9	36.7	32.6	17.6	0.2	100.0